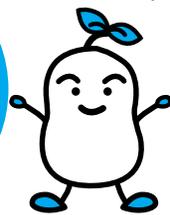


2006.7.1



No.

124



社協は地域福祉を推進する
社会福祉法人(民間団体)です。

〒167 0051 杉並区荻窪 5-15-13
あんさんぶる荻窪 5F
@5347-1010

http://www.sugisyakyo.com

ふれあいネットワーク あなみ社協

やってみてかわる明日

ボランティアセミナー2006 参加者募集



夏休み期間中に、区内福祉施設(保育園・高齢者施設・障害者施設等)やNPO・ボランティアグループ等で、ボランティア体験学習を行うプログラムです。活動先・日程は参加者自身が選び、7/24~8/31の間の3日間以上で「自由設計」することができます。

申込手続きは...

- 【受付日時】7月8日(土) 10時~17時の間にお越しください。(所要時間は概ね1時間程度です)
- 【受付場所】あんさんぶる荻窪5階第2会議室 下記地図参照
- 【内容】ボランティアセミナーの説明 体験先一覧表からボランティア体験先を自分で選ぶ 日程調整して申込書を記入する
- 【対象】中学生~概ね30歳まで(杉並区 在学、在勤、在住の方)
- 【定員】150名
- 【費用】500円(別途、ボランティア保険料300円必要。既加入の方は不要)

ボランティアセミナー 事業概要

この事業では、杉並区内の公的サービスを行っている施設やNPO・ボランティアグループの協力を得て、青少年・青年層を中心に受け入れを願う、体験活動を実施します。目的は、社会的使命をもった活動の現場にふれることにより、ひとりの人間として何を大切に、何のために、どのような行動をおこなうかを肌で感じ、考えてもらうことにあります。それらのプロセスの中で杉並という地域社会に興味を持ち、ボランティアの視点を育むことにつながることが期待されています。

体験先にはどんなところがあるの?

A: 保育園や児童館、高齢者のためのデイサービスセンター、老人ホーム、身体障害、知的障害や精神障害のある方の施設や作業所、聴覚や視力に障害のある方へ活動しているボランティアグループ、子どもの健全育成や環境保全、病院などで活動しているNPO・ボランティアグループ、文化や芸術を大切にしているボランティアグループなど100箇所以上の受け入れ先があります。



ボランティアセミナー2005
「阿佐谷七夕まつり ゴミ分別ボランティア体験」

宿題での参加もいいの?

A: きっかけは何であれ、あなた自身が「その気になった、やってみたい」気持ちになっていれば大歓迎! 「やりたくない」のに参加すると、あなたにとっても、受け入れ先にとっても、いい出会いになりません。事前にご相談ください。

なぜ中学生~30歳までなの?

A: このプログラムは夏にしか時間がつかれない、また普段は受け入れをお断りしている年代層のために始めたプログラムです。そのため、体験前にマナーや心得等のオリエンテーションや体験後の振り返りまでをセンターで行っています。「対象」以外の方には、いつでもボランティア活動の紹介をしています。下記、「ボランティア・はじめの一步・相談日」などをご利用ください!

体験談

「ぼくは職員の方からいろいろ注意されました。例えば『声が小さい』『おとしよりに大きな声など注意された結果、前よりも声は大きくおとしよりに話すことができました。』」
(高齢者デイサービスセンターにて・中学2年生)

「体験して一番驚いたことは、園児のみならず『先生』と呼ばれたことです。私はまだ免許もなく体験させてもらっている立場だけれど、そんなことは園児たちにとっては関係のないことなのだと思うと責任を感じました。」
(保育園にて・高校2年生)

失敗談

振り返りの会より

- 表情が硬くなってしまった
- 友達と遊んでしまった
- あいさつができなかった
- 高齢者の方に注意された
- 利用者の方の名前を覚えられなかった
- 名札を持っていくのを忘れた



ボランティアセミナー2005
「まどめの会 グループワーク」

こちらもよろしく!

ボランティア はじめの一步 相談日

気軽に、おいでいただける相談日です。ご希望にあわせて職員がマンツーマンで、ボランティアに関する情報についてお答えさせていただきます。

【日時】毎週木曜日

13時~20時の間、いつでも

【場所】杉並ボランティア活動推進センター

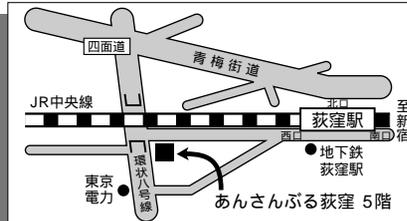
【費用】無料

【対象】地域とのつながりを模索している、なにか社会の役に立ちたいと思っている、興味のある活動をしている団体を探したいなど、ボランティア活動に興味のある方。年齢は問いません。



このページに掲載されている事業の問い合わせ・申し込みは

杉並ボランティア活動推進センター
〒167-0051 杉並区荻窪 5-15-13 あんさんぶる荻窪5階
電話番号: 03-5347-3939 FAX番号: 03-5347-2063
ホームページ: http://borasen.jp
電子メール: info@borasen.jp



子育てを手伝ってくれる人いませんか？

ファミリーサポート協力会員募集！！

ファミリーサポートとは…

むかし、どのまちにもあった「隣近所」のように、ベビーシッターでもない、保育園でもない、対等な区民同士が助け合うシステムで、子育ての手助けをして欲しい人（利用会員）と、手助けができる人（協力会員）が、地域の中で相互援助を行う会員制の組織です。子育ては大変だけど楽しい仕事。地域のみんなでこの大変さと楽しさを分かち合いましょう。



協力会員はどんな方？

20歳以上の方で、心身とも健康かつ子育てに意欲のある方で、以下の活動に協力してくださる方。



ファミリーサポートの活動内容

- 保育園、幼稚園への送迎とそれに伴う預かり
- 学校の放課後、または学童クラブ終了後の預かり
- 保護者の病気や緊急時の子どもの預かり
- 冠婚葬祭や兄弟の学校行事の際の子どもの預かり など



協力会員になるには…

ご本人が確認できるもの（健康保険証、運転免許証、パスポート等）と、会員証用顔写真2枚（3×2cm）をお持ちの上、直接窓口へおいでください。

協力会員登録後に講習を受けていただきます。

くわしくは…

ささえあいサービス 03・5347・1021 まで
お問い合わせください。

ご存知ですか？

『成年後見制度』の巻

要介護の妻と
2人暮らし。子どもはいない。
私が認知症になって
しまったら…

私が管理している
認知症の父の
アパートの家賃収入。
私の家の建て替え
には使えない？



えっ!!
妻の定期預金、
私が解約して
あげられないの？

そんな時、活用できる制度があります。 それが「成年後見制度」です！！

成年後見制度とは、判断能力が不十分なために、財産侵害を受けたり、人としての尊厳が損なわれたりすることがないように、法律面や生活面で支援する身近なしくみです。家庭裁判所で選任された後見人が、ご本人に代わって財産管理や福祉サービスなどの契約をしたり、不利益な契約を取り消したりすることで、ご本人の権利を守ります。また、判断能力が十分なうちに、将来に備え信頼できる人と契約を結んでおく、任意後見制度もあります。

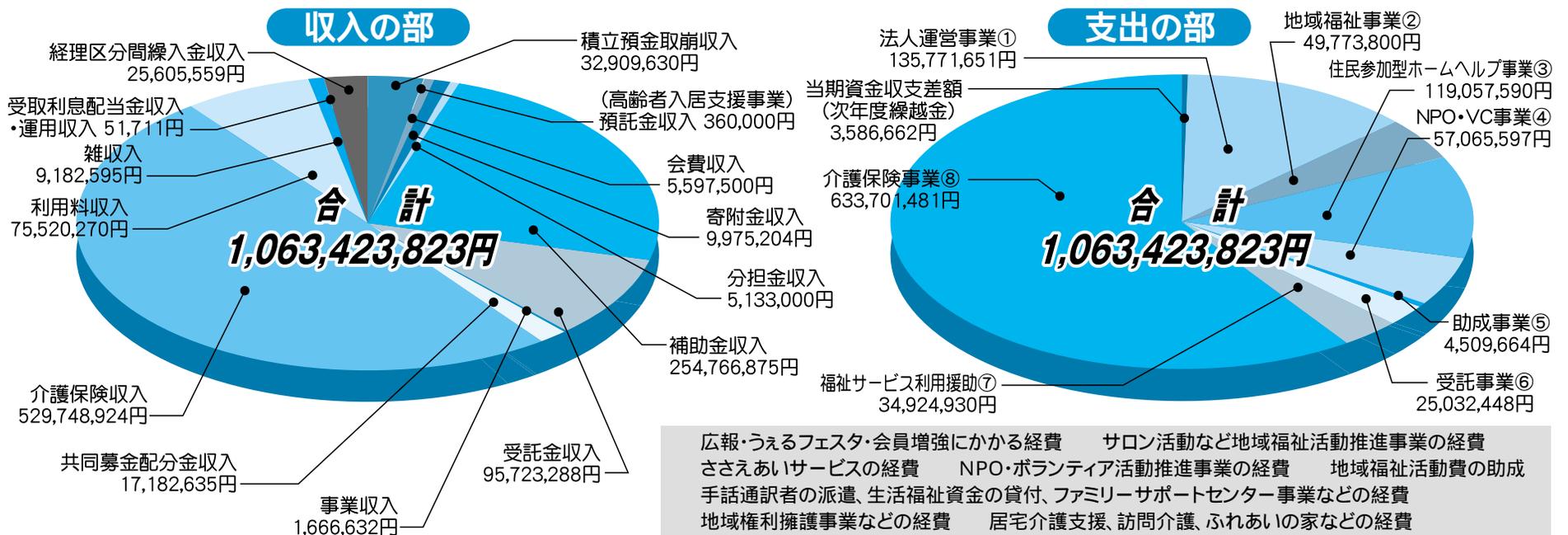
ご相談は
杉並区成年後見センター

杉並区荻窪5-15-13 あんさんぶる荻窪5階

電話：03(5397)1551

開館時間：午前8時30分～午後5時（月～金、祝祭日・年末年始を除く）

杉並区成年後見センターは「杉並区」と「杉並区社会福祉協議会」を構成員とし、「杉並区民の福祉の向上」を目的に設立した「有限責任中間法人」です。



平成17年度 杉並社協の主なトピックス

水害被災者支援活動

9/4深夜に杉並区を襲った集中豪雨により、被害に遭った世帯の支援活動を行いました。NPO・ボランティア活動推進センターを中心にボランティア募集を呼びかけ、高齢者世帯を中心に畳や家具の運び出し、片付け等を行いました。(支援件数95件)

社協事業の改革

介護保険事業の再編成

高円寺北・清水・下井草・上荻のふれあいの家の運営から撤退し、ヘルパーステーション(訪問介護事業)を閉鎖しました。そして、要介護認定調査事業と地域包括支援センター(ケア24)の新規運営を図りました。

NPO・ボランティア活動推進センターの機能分化

NPO活動支援事業とボランティア活動推進事業を分離して運営することを検討、杉並ボランティア活動推進センターを設置しました。

杉並区成年後見センターへの設立準備

「杉並区成年後見制度利用者支援検討会」の結果を受けて、杉並区と社協で第三者機関(有限責任中間法人)を設立するにあたり準備作業を行いました。

平成18年度 杉並社協 事業重点目標

1. 地域包括支援センター(ケア24)の運営

介護保険法の改正による「地域包括ケア」の考え方を中核として、地域に内在する課題を幅広く把握し、介護保険にとどまらない適切なサービスにつなげるなど、地域福祉の担い手としての使命・役割を果たしていきます。

2. 介護保険事業の新規展開

社協の中立性、公平性の立場から、介護保険の要介護認定調査の事業を行います。

3. 地域福祉推進事業の連携・協働

「住民主体の地域社会の実現」をめざし地域課題の解決のために、ささえあい係、地域福祉推進係、ボランティア活動推進センター、地域包括支援センター等が連携・協働を深め、社協一体となった取り組みを行います。
 福祉サービス利用援助事業と有限中間責任法人「杉並区成年後見センター」とが連携・協働し、社協らしい利用援助事業の強化を図ります。

平成17年度 歳末たすけあい募金 報告

みなさまからの募金はこのように使われました

- ⑤ 小地域福祉活動「きずなプラン」の実施、
- ⑥ 「きずなサロン」の支援

住民相互のささえあい活動として、相談所の運営、育児相談会、地域福祉講演会の開催の他、広報紙の発行をしました。また、地域の交流を深めることを目的とした「きずなサロン」の支援を行いました。

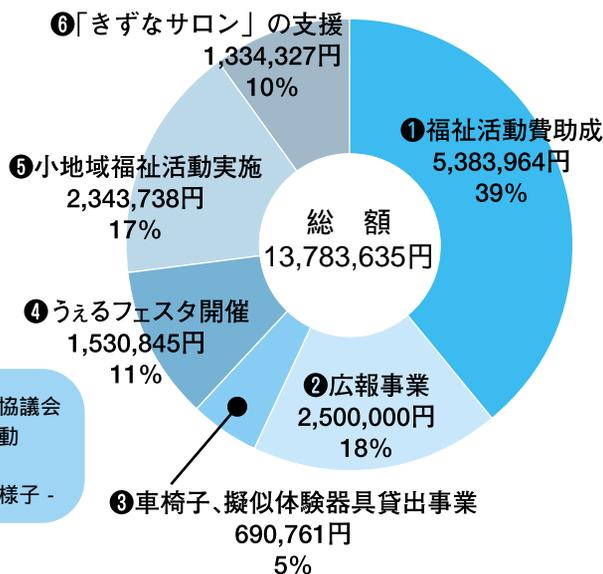


和田堀地区住民福祉協議会 主催の寺子屋活動 - クリスマス会のバルーンアートの様子 -

④ 「うえるフェスタ2005」の開催

12月4日に、住民に向けての福祉やボランティア活動への理解を拡げるために、セッション杉並で開催しました。

うえるフェスタ2005 の一場面 ~ ボランティアグループによるこどもコーナー ~



① 福祉活動費助成

区内の福祉団体や福祉施設、NPO団体、ボランティアグループが行う地域に向けた福祉活動に対し、審査の上、助成しました。平成17年度は42団体に助成しました。



NPO法人 健康食生活サポートチーム 「会食事業」 - 高齢者向けの簡単料理の紹介をしながら交流と親睦を図る -

歳末たすけあい募金の目的

歳末助けあい募金はもともと、貧困のため生活が安定しない方のために、歳末に「おもちゃ代」を各家庭から集めて配布した、という自然発生的な活動から始まったものです。近年、福祉制度の確立により救済的な目的の「見舞金」は全国的に見直し傾向にあり、杉並区社会福祉協議会でも東京都共同募金会の打ち出した方向性に基づき、より広い意味での福祉に役立てられるものとして、地域福祉活動の振興のための資金に切り替えています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

② 広報事業

区内のさまざまな地域福祉活動を紹介するとともに、歳末たすけあい募金への理解と協力を求めるために広報紙を発行しました。

③ 車イスの貸出

短期的に車イスを必要とし、介護保険や障害者の制度では利用できない方を対象に無料で貸出しました。

うえるくんは地域福祉活動の種。彼の名前には、その種を「植える」、福祉を意味する「ウエルフェア」、皆さんと一緒にという気持ちと「ウエルカム」の3つの想いがこもっています。

うえるくん 11

夏の日の思い出

うえるアルバム

1ページに

加えよう...

ボランティアセミナー 2006 !!

ありがとうございました

寄付者名簿 敬称略

平成18年2月1日～平成18年5月31日

〈団体〉	
(株)F F S 味噌ー 荻窪店	40,000円
(株)F F S 味噌ー 高円寺店	40,000円
A S A 西浜山	12,000円
みどり豊かな明るい杉並をつくる会	515,631円
社団法人 荻窪法人会青年部	200,000円
成一自治会 団体保険部	100,000円
ユネスコ・スペシャルアドバイザー 栗原小巻	150,000円
天沼中学校卒業生父母の会	10,000円
社団法人 杉並法人会 社会員献金委員会	110,640円
東京土建一般労働組合杉並支部	328,590円
久我山東自治会 婦人部	5,000円
株式会社ドンキホーテ 環七方南町店	28,839円
杉並区民生委員児童委員長協議会	112,344円
東京都立杉並工業高等学校	77,531円
JA 東京中央城西地区女性部	100,000円
岩松ダンス教室	40,000円
東京商工連盟 杉並地区委員会	57,653円
荻窪病院看護部	50,000円
ボランティアグループ 手と足の会	6,340円
杉並区新聞販売同業組合	50,000円
社団法人 倫理研究所 「家庭倫理の会」杉並区	10,000円
桜上水商店舗会	16,090円
〈個人〉	
山田 千枝子	5,000円
矢崎 照雄	20,000円
田中 宗吉	10,000円
吉井 千恵	100,000円
匿名(13件)	1,125,895円

(お名前は承諾を得て掲載しています。)



参加者でにぎわうスタート地点 (あんさんぶる荻窪)

当日はあいにくの雨模様。不安な気持ちを抱きつつ、10時の受付開始時間に間に合うようにあんさんぶる荻窪に向かうと、玄関前には開始を待ちきれない人たちがあふれていました。参加費500円を払って通行手形を受け取ると、自然と期待に胸が膨らみます。家族連れの方々が笑顔で続々と出発していきのこに合わせ、いよいよスタート。大通りを避け、善福寺川沿いに、水遊びする鴨のファミリーを眺めながらのんびり進んでいくと、第1チェックポイントの杉並会館に到着。会館内3階には「杉並アニメーションミュージアム」が設置されており、チビッコたちに混ざって童心にかえりつつ見学。真向かいにある荻窪八幡神社の荘厳な雰囲気とのコントラストもなかなか絶妙。

今年はあるさんぶる荻窪をスタートし、チェックポイントとなる杉並会館、井荻公園、東京女子大学、井草八幡宮を経由し、ゴールとなる井草中学校を目指します。

ひろげよう!
チャリティーの輪

「NPO法人 未来をつなぐ子ども資金」
～杉並チャリティー・ウォーク2006～

当日はあいにくの雨模様。不安な気持ちを抱きつつ、10時の受付開始時間に間に合うようにあんさんぶる荻窪に向かうと、玄関前には開始を待ちきれない人たちがあふれていました。参加費500円を払って通行手形を受け取ると、自然と期待に胸が膨らみます。家族連れの方々が笑顔で続々と出発していきのこに合わせ、いよいよスタート。大通りを避け、善福寺川沿いに、水遊びする鴨のファミリーを眺めながらのんびり進んでいくと、第1チェックポイントの杉並会館に到着。会館内3階には「杉並アニメーションミュージアム」が設置されており、チビッコたちに混ざって童心にかえりつつ見学。真向かいにある荻窪八幡神社の荘厳な雰囲気とのコントラストもなかなか絶妙。



感動のゴール地点 (井草中学校)

ゴール地点では焼きそばやビールなどの出店の他、体育館内では和太鼓、阿波踊り、大江戸ダンスのアトラクションもあり、悪天候を吹き飛ばす賑わいでした。また、協賛企業各位より提供された豪華景品の抽選会もあり、参加者の喜びの笑顔あふれるエンディングとなりました。

車の行きかう青梅街道が横切っているとは思えないほど静かで厳粛な雰囲気、都会の喧騒を忘れるほど。

井草八幡宮を出発し、20分ほど歩くといよいよゴールの井草中学校に到着。ささやかな感動さえ覚えませんでした。ゆっくり歩いて所要時間2時間程度、大人にも子どもにも適度な距離といえるのではないのでしょうか。(日頃、運動不足の私にはかなりきつかったです。)

ゴール地点では焼きそばやビールなどの出店の他、体育館内では和太鼓、阿波踊り、大江戸ダンスのアトラクションもあり、悪天候を吹き飛ばす賑わいでした。また、協賛企業各位より提供された豪華景品の抽選会もあり、参加者の喜びの笑顔あふれるエンディングとなりました。

『あいにくの雨にも拘わらず大勢の方々が参加くださいましてスツッ一同感激しています。また、それなりに盛会に行うことができました。有難うございました。』

杉並チャリティー・ウォークは、軽いスポーツを楽しむ市民の交流イベントですが、同時に地域で活動する団体・グループにさまざまな財的支援するための資金つくりイベントでもあり、参加者の皆さまはこれに参画していることになり。このイベントの趣旨をご理解いただければ幸いです。

まだ参加したことがないというみなさんも、今年参加されたみなさんもぜひ次回のチャリティー・ウォークでお会いしましょう。

本企画は、「NPO法人 未来をつなぐ子ども資金」が主催し、様々な団体やボランティアが実行委員会に参加しました。参加者から集められた参加費は全て、子どもたちのために活動している団体への助成資金となります。チャリティーに参加しつつ、普段は見落とされてしまいがちなわがまち杉並区の文化や自然にふれることのできる絶好の企画といえるのではないのでしょうか。

「未来をつなぐ子ども資金」代表の神谷幸男氏より次のようなコメントをいただきました。

編集後記

鬱陶しい梅雨の後、暑～い夏が待っています。汗をかくことは人間の身体の冷却作用だと聞きました。積極的に動いて汗をかき、身体を冷やしましょう。気持ちよい汗をかくには、ボランティアやファミリーサポートの活動はうってつけです。ご協力お待ちしております。(松)

杉並社協入会のお願い

杉並区社会福祉協議会は、住民会員制度に支えられた民間の福祉団体で、地域の福祉課題の解決に取り組んでいます。誰もが安心して暮らすことができるまちの実現を目指し、福祉活動の推進や、ボランティア活動等の振興支援など様々な福祉の事業を行っています。

杉並をよりよいまちにしていけるため、皆様のご協力をお願いいたします。

- 会費** 個人会員 年額1,000円～
その他:施設・団体・地域・企業会員があります
- 入会方法** 杉並区社会福祉協議会へご連絡ください。
民生委員さんを通じてもご入会いただけます。
- 連絡先** 杉並区社会福祉協議会
〒167-0051 杉並区荻窪 5-15-13
あんさんぶる荻窪 5F
TEL (03)5347-1010
FAX (03)5347-2061

私たちは杉並の地域福祉活動を応援しています。

あなたの街に あなたの近くに 青色申告会
会員募集中! 是非ご入会下さい

青色申告会は記帳指導を中心に税務・金融・法律・経営・共済等幅広く活動している団体です。

TEL 03 (3393) 2831

社団法人 杉並青色申告会
〒166-0004 杉並区阿佐谷南3-1-26-201

ホームページ <http://www.aoiro.org> eメール info@aoiro.org

皆様のおかげで会結成55周年を迎えました。



すぎなみ社協だよりは環境に配慮して、古紙配合率100%の再生紙、大豆油インキを使用しています。